

様式記入例

様式1の1 記入例

入学願書（幼稚部）

		市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印
注 1	受付 番号	幼	
<p>下記の者を京都府立 盲聾 ^{注2} 学校幼稚部に入学させたいので、出願します。</p> <p>令和6年1月 ×日</p> <p>現住所 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地</p> <p>保護者氏名 京都 一郎 ^印 ^{注3} 075-414-5835 (電話)</p> <p>京都府立 盲聾 ^{注2} 学校長 様</p> <p>記</p>			
幼 児	ふりがな	きょうと たろう	令和2年4月23日生
	氏名	京都 太郎 保護者との関係(子)	令和6.4.1現在(3)歳
	現住所	同上	

注1 「受付番号」は、記入しないでください。

注2 志願先の学校名を記入してください。

注3 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は保護者印を押印してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

様式1の2 記入例

京都府立特別支援学校幼稚部入学希望者調査書

注1 ※受付番号						注2		
幼児	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 ㊞		
修学 状況	入学前	幼稚園 保育所 認定こども園	令和3年4月(1)歳から 年 月()歳まで	療育園 整肢園	令和2年4月(0)歳から 年 月()歳まで			
障害の 状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 知的障害 肢体不自由 病(虚)弱		視力 聴力 視力・聴力 (検査の結果がある 場合記入)	<p>■視力・聴力結果は、園・学校や病院等で測定した数値を記入してください。 なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。 ■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>			
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。						
	身体障害者手帳の有無 注4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	2種 6級	交付年月日			令和 3 年 1 月 15 日	
	療育手帳の有無 注4	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	A・B	交付年月日			年 月 日	
状況 注5	視覚	① よく見えていると思う。 ② 目の前で指の数がわかる。 ③ 目の前の指の動きがわかる。 ④ 視野がせまい。 ⑤ 光覚がない。 ⑥ 見えているかどうかわからない。			状況の説明	<p>「状況の説明」欄は出来るだけ詳細にご記入ください。</p> <p>記入例(聴覚の場合) ■右が補聴器で、左が人工内耳である。</p> <p>記入例(言語の場合) ■○○において、教育相談を受けている。</p>		
	聴覚	① よく聞こえていると思う。 ② 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。 ③ 聞こえているかどうかわからない。			状況			
	言語	① 普通に話せる。 ② 片言で話せる。 ③ 表情、身ぶりで表現する。 ④ 話せない。			状況			
	衣服の着脱	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況			
	歩行	① 一人で歩く。 ② 介助によって歩く。 ③ 自分ではできない。			状況			
食事	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況				
排せつ	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況				

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の1 記入例

様式2の1

入学願書 (高等部)

市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印 (盲学校・聾学校出願者のみ)

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	〇〇市立 △△中学校
志願者住所	(〒602 - 8570) 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1
ふりがな	きょうと たろう
志願者氏名	京都 太郎 平成 20 年 4 月 23 日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立

■ ■ 支援

学校長 様

令和6 年 1 月 × 日

志望先の学校名を記入
すること。

(〒 -)

保護者住所 志願者に同じ

ふりがな きょうと いちろう

保護者氏名 京都 一郎 (印) 注2

志願者との関係 父

(電話) 075-414-5835

記

志 望	学校名	科名
	■ ■ 支援 学校高等部	普通 科 注3

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 志望先の学校名及び学科名を記入してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注5 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の4 記入例

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 (印)
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 聴覚障害 <u>知的障害</u> <u>肢体不自由</u> 病(虚)弱		視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	<p>■視力・聴力結果は、学校や病院等で測定した数値を記入してください。</p> <p>なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。</p> <p>■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。			聴力	
	身体障害者手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	1種 3級	交付年月日	平成	
	療育手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	<u>A</u> ・B	交付年月日	令和 元年 5月 10日	
状況 注5	<p>で 該 当 する いく ず れ か の 番 号 を ○</p>	視 覚	<p>①よく見えていると思う。</p> <p>2 小学校1年の教科書程度の文字が見える。</p> <p>3 目の前で指の数がわかる。</p> <p>4 目の前の指の動きがわかる。</p> <p>5 視野がせまい。</p> <p>6 光覚がない。</p> <p>7 見えているかどうかわからない。</p>	状況の説明	<p>「状況の説明」欄は出来るだけ詳細にご記入ください。</p> <p>記入例(歩行の場合) ■車いす・歩行器・補装具・クラッチを使用 ■外出時は付き添いが必要 など</p>	
		聴 覚	<p>①よく聞こえていると思う。</p> <p>2 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。</p> <p>3 聞こえているかどうかわからない。</p>	状況		
		言 語	<p>1 普通に話せる。</p> <p>②片言で話せる。</p> <p>3 表情、身ぶりで表現する。</p> <p>4 話せない。</p>	状況		
	衣服の着脱	<p>1 自分ができる。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況			
	歩 行	<p>1 一人で歩く。</p> <p>②介助によって歩く。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況			
食 事	<p>1 自分ができる。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況				
排 せ つ	<p>1 自分ができる。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況				

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種類等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の5 記入例

報 告 書

学歴 注2	令和6年3月31日 ○○市立△△		中学校 中学部	卒業見込み	卒業
受付番号	注1		受付学校名	ふりがな	性別
				きょうと たろう	男
			氏名	京都 太郎	
				平成20年 4月23日生	
総合所見及び指導上参考となる諸事項					
<p>特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特長、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。</p>					
出欠の記録			令和5年12月31日現在		
学年	1	2	3		
授業日数					
出席停止忌引き等の日数	/				
欠席日数	5	8	8		
(備考)					
年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。					
※「令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」(66ページ)参照					
健康面等指導上特に配慮を要する事項					
<p>配慮する事項があれば、記入してください。 特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。</p>					
第3学年の学習の記録 注3			総合的な学習の時間		
教科	評定	教科	評定	観点	点
国語	2 (4)	外国語 (英語)	2 (2)		
社会	2 (3)	「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。			
数学	2 (2)	1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。			
理科	2 (2)	2 右側の() 書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学校の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等を照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。			
音楽	3 (3)				
美術	3 (3)				
保健体育	4 (/)				
技術(職業)・家庭	2 (/)				
学習活動					
学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。					
校長証明			<p>この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。</p> <p>令和 6年 1月 ×日</p> <p>学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町1番地 学校名 ○○市立△△中学校 校長氏名 平安 一郎</p>		
記録担当者氏名			山田 太郎		

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 「第3学年の学習の記録」の評定中、()には、特別支援学級における評定を記入してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注5 空白の部分は斜線を引いてください。

報告書（府立盲学校・聾学校用）記入例

様式2の7

令和6年度検査

報 告 書(府立盲学校・聾学校用)

		※受付番号											
		※受付学校名		京都府立 学校									
学歴	令和 6 年 3 月 31 日				ふりがな		きょうと たろう				性別		
	卒業見込み				氏名		京都 太郎				男		
	〇〇市立△△ 中学校						平成 20 年 12 月 30 日生						
		卒業											
学習の記録	必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語		
	1年	評定	5	5	5	5	4	4	3	5	5		
	2年	評定	3	2	3	4	5	4	3	2	3		
	3年	評定	3	4	5	4	3	4	3	5	5		
		観 点 別 学 習 状 況	I	指導要録に記載された観点ごとにA・B・Cの記号を記入すること。									
			II	「学習活動」及び「評価の観点」を踏まえ、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して、具体的に文章で記入すること。									
	III												
総合的な学習の時間							総合所見						
							特別活動（学級活動・生徒会活動等）、部活動の状況、生徒の特技（取得資格等）、学校内外におけるボランティア活動、表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体に認められる行動の状況等について、3年間を通して顕著なものを簡潔に記入すること。						
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考									
	1年	/	20	※令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて（66ページ）参照									
	2年	/	5										
	3年	/	4										
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。													
校 長 証 明													
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。													
										令和 6 年 1 月 × 日			
学 校 名		〇〇市立△△中学校											
校 長 氏 名		平安 三郎											
		校△○ 長△○ 之市立 印学立										(電話) 123-456-7890	
										記録担当者氏名 山田 太郎			

- 注1 令和5年12月31日現在の記録を記入してください。
- 2 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
- 3 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として箇条書きで記入してください。
- 4 空白の場合は斜線を引いてください。

報告書(府立盲学校・聾学校用)
(令和3年3月以前卒業生用)

		※受付番号										
		※受付学校名		京都府立 学校								
学歴	令和 3 年 3 月 31 日			ふりがな	きょうと たろう	性別						
	卒業見込み 〇〇市立△△ 中学校			氏名	京都 太郎	男						
		卒業				平成 17 年 12 月 30 日生						
学習の記録	必修教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語		
	1年	評定	5	5	5	5	4	4	3	5	5	
	2年	評定	3	2	3	4	5	4	3	2	3	
	3年	評定	3	4	5	4	3	4	3	5	5	
		観点別 学習 状況	I	指導要録に記載された観点ごとにA・B・Cの記号を記入すること。								
			II									
			III	「学習活動」及び「評価の観点」を踏まえ、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して、具体的に文章で記入すること。								
IV												
V												
総合的な学習の時間						総合所見						
						特別活動（学級活動・生徒会活動等）、部活動の状況、生徒の特技（取得資格等）、学校内外におけるボランティア活動、表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体に認められる行動の状況等について、3年間を通して顕著なものを簡潔に記入すること。						
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考								
	1年	/	20	体育授業中骨折し、入院								
	2年	/	5									
	3年	/	4									
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。												
校長証明						※「令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」（66ページ）参照						
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。												
学 校 名 〇〇市立△△中学校						令和 6 年 1 月 X 日						
校 長 氏 名 平安 三郎						(電話) 123-456-7890						
校 長 印						記録担当者氏名 山田 太郎						

注1 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
 注2 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として箇条書きで記入してください。
 注3 空白の場合は、斜線を引いてください。

報告書（府立盲学校・聾学校用）「学習の記録」欄の記入について

「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。

- 1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。
- 2 右側の（ ）書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。

報告書（府立盲学校・聾学校用）（様式2の7）の抜粋

		必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語
		1年	評定	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)
学習の記録	2年	評定	1(2)	2(3)	2(3)	1(2)	3(4)	2(2)	4(5)	3(3)	1(2)	
	3年	評定	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)	
		観点別学習状況	I									
			II									
	III											

指導要録に記載された観点ごとに
A・B・Cの記号を記入すること

様式3の1 記入例

入学願書(高等部 職業学科)

市町(組合)教育委員会
受付印

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	〇〇市立△△中学校
志願者住所	(〒602-8570) 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地
ふりがな	きょうと たろう
志願者氏名	京都 太郎 平成20年4月23日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立 ■■ 支援学校長 様

令和6年1月×日

↑
第1志望の支援学校名を
記入すること。

(〒 -)

保護者住所 志願者と同じ

ふりがな きょうと いちろう
保護者氏名 京都 一郎 (印) 注2

志願者との関係 父

(電話) 075-414-5835

記

希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
学校名	支援学校	支援学校	支援学校
学科名	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 様式3の1 志願例及び記入例参照 </div>		
	総合科		

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の1 志願例及び記入例

例1

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 B支援学校□□総合科
第3志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではC支援学校)

志望	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
	学校名	A 支援学校	B 支援学校	C 支援学校
	学科名	〇〇総合科	□□総合科	普通科

例2

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではB支援学校)
第3志望 なし

志望	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
	学校名	A 支援学校	B 支援学校	支援学校
	学科名	〇〇総合科	普通科	

※斜線で抹消すること。

例3

- 第1志望 A支援学〇〇総合科
第2志望 志望なし
第3志望 志望なし

志望	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
	学校名	A 支援学校	支援学校	支援学校
	学科名	〇〇総合科		

※斜線で抹消すること。 ※斜線で抹消すること。

注意

次の様な志望はできません。

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではC支援学校)
第3志望 B支援学校□□総合科

志望	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
	学校名	A 支援学校	C 支援学校	B 支援学校
	学科名	〇〇総合科	普通科	□□総合科

様式3の4 記入例

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 (印)
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 聴覚障害 <u>知的障害</u> 肢体不自由 病(虚)弱		視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	<p>■視力・聴力結果は、園・学校や病院等で測定した数値を記入してください。 なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。 ■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。			聴力	
	身体障害者手帳の有無 注4	有 <u>無</u>	種 級	交付年月日		
	療育手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	A <u>B</u>	交付年月日 令和 元年 5 月 10 日		
日常生活の状況 注5	生活の状況	状況の説明				
	学習の状況	状況の説明				
	通学の状況	状況の説明				
	その他	※学校生活を送る				
<p>各項目について、「状況の説明」を出来るだけ詳細に記入してください。 「その他」の項目については、学校生活等において、特に配慮が必要な事項がありましたら記入してください。</p>						

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。
 なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、各項目について、「状況の説明」を出来るだけ詳細に記入してください。
 「その他」の項目については、学校生活等において、特に配慮が必要な事項がありましたら記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の5 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	令和6年3月31日		〇〇市立△△	中学校 中学部	卒業	ふりがな きょうと たろう	氏名 京都 太郎	受付番号	性別 男
注1									
受付学校名									
平成20年4月23日生									
総合所見及び指導上参考となる諸事項									
<p>特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。</p> <p>※「令和6年度府立特別支援学校高等学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」(66ページ)参照</p>									
<p>この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。</p> <p>令和6年1月×日</p> <p>学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町1番地 学校名 〇〇市立△△中学校 校長氏名 平安 一郎</p> <p>校△△ 長△△ 之△△市 印△△立</p> <p>記録担当者氏名 山田 太郎</p>									
出欠の記録									
令和5年12月31日現在									
学年	1	2	3						
授業日数									
出席停止(忌引き等)の日数									
欠席日数	5	8	8						
(備考)	<p>年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。</p> <p>特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。</p>								
健康面等指導上特に配慮を要する事項									
<p>配慮する事項があれば、記入してください。</p>									
第3学年の学習の記録									
教科	評定	教科	評定						
国語	2 (4)	外国語(英語)	2 (2)						
社会	2 (3)	「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。							
数学	2 (2)	1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。							
理科	2 (2)	2 右側の()書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等を照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。							
音楽	3 (3)								
美術	3 (3)								
保健体育	4 (/)								
技術(職業)・家庭	2 (/)								
総合的な学習の時間									
学習活動	観点								
<p>学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。</p>									

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の6 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	令和6年3月31日	中学校 A支援学校 中学部	卒業見込み	注1 受付番号 受付学校名 ふりがな 氏名 きょうと たらう 京都 太郎 平成20年4月23日生	性別 男
教科	総合所見及び指導上参考となる諸事項				
国語	健康面等指導上特に配慮を要する事項				
社会	特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。				
数学	配慮する事項があれば、記入してください。				
理科	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。				
音楽	校長証明				
美術	令和5年12月×日				
保健体育	学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入藏ノ内町1番地				
技術(職業)・家庭	学校名 ○○支援学校				
外国語	校長氏名 平安 一郎				
特別活動	校印				
自立活動	印 援 立				
学習活動	総合的な学習の時間の記録(第3学年)				
学習活動	評価				
学習活動	出欠の記録				
学習活動	令和5年12月31日現在				
学習活動	学年				
学習活動	1 2 3				
学習活動	授業日数				
学習活動	出席停止(忌引き等)の日数				
学習活動	欠席日数				
学習活動	5 8 8				
学習活動	備考				
学習活動	年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。				
学習活動	記録担当者氏名 山田 太郎				

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の7 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学 歴 注2	令和 6 年 3 月 31日	中学校 A支援学校 中学部	卒業見込み	卒業	注1 受付番号 受付学校名	きよと たろう 京都 太郎 平成20年 4月23日生	性別 男
	第3学年の学習の記録		総合所見及び指導上参考となる諸事項				
教科等	(記入してください。)	特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。					
		健康面等指導上特に配慮を要する事項					
		配慮する事項があれば、記入してください。					
		校長 証明					
学習活動	評 価	令和 5年 12月 ×日					
学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。	学年	1	2	3	学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地		
	授業日数				学校名 ○○支援学校		
年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。	出席停止忌引き等の日数				校長氏名 平安 一郎		
		5	8	8	学 校 印 学 校 長 之 印		
		記録担当者氏名 山田 太郎					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業については該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

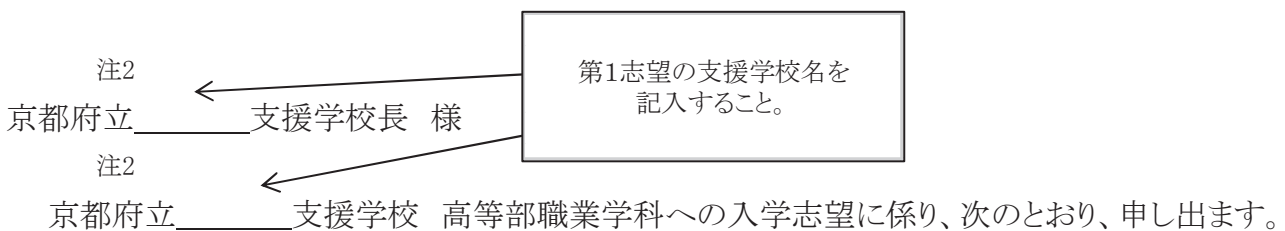
様式3の8 記入例

療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）

注1 ※受付番号			(保護者が記入してください。)
志願者	ふりがな	きょうと たろう	
	氏名	京都 太郎	

この確認書は、現在は療育手帳を所有していない、かつ医師が作成する診断書を所持していない者のみ、記入して提出してください。

※現在、療育手帳を所持している、または医師が作成する診断書を所持している者については、その写しを提出してください。



注3

今後、療育手帳を取得する意思があります。

どちらかにチェックすること。

現在、療育手帳取得の申請中です。

注1 受付番号欄は記入しないでください。

注2 志望する学校名を記入してください。

注3 選択する項目にをしてください。

在学中学校・特別支援学校名 ○○市立△△中学校

志願者氏名 京都 太郎

保護者氏名 京都 一郎 印

注 保護者自署の場合は押印は不要です。

その他の場合については、保護者印を押印してください。

令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて

令和6年度の府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取扱いについては、出欠の記録に関する記載事項のうち「出席停止・忌引き等の日数」は記載せず斜線をいれること。「出席停止・忌引き等の日数」が推測できる「授業日数」も同様に記載せず斜線を入れること。また、「備考欄」のある報告書を実態に沿って使用することから、オンラインを活用した特例の授業の参加日数については、記載の必要はなしとすること。ただし、報告書の作成に係るシステム改修を必要とする場合や、新たな報告書の作成、発行に相当の負担が生じるなど、それが困難な場合には従前の方法による報告書を提出することもやむを得ないこと。

<参考>

出欠の記録			
令和5年12月31日現在			
学年	1	2	3
授業日数	斜線を入れる		
出席停止忌引き等の日数			
欠席日数	欠席日数を記入する		
(備考)			

オンラインを活用した特例の授業の参加日数については、記載しない